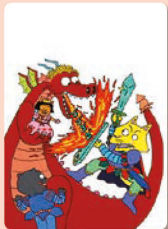


FUKU-FUKU

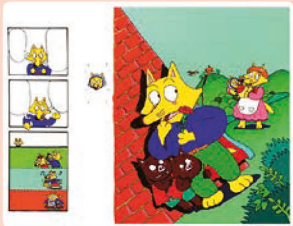


「かいけつゾロリ大冒険展」

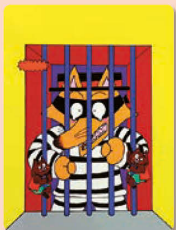
キツネの主人公・ゾロリと仲間たちの大冒険を描いた「かいけつゾロリ」シリーズの作品を大公開！本展では、これまでの大冒険の歴史を振り返りながら、150点を超える貴重な原画などを展示します。ゾロリが集めた“お宝”も登場し、作品の世界観を体感できます。魅力あふれるゾロリワールドをお楽しみください。



『かいけつゾロリのドラゴンたいじ』
1巻 (1987年)



『かいけつゾロリのママだーいすき』
9巻 (1991年)



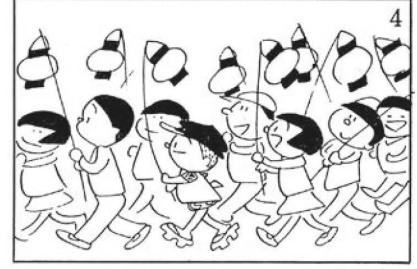
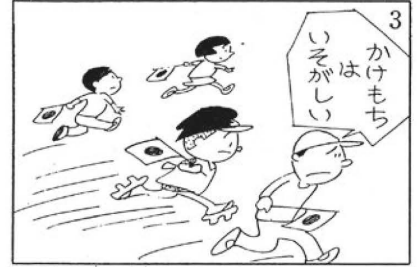
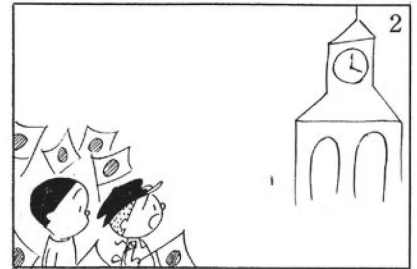
『かいけつゾロリつかまる!!』
15巻 (1994年)

KAIKETSU ZORORI DAIBOKEN
かいけつゾロリ大冒険展
2019年9月14日(土)~11月10日(日)

横山隆一
記念まんが館
9:00~18:00

【一般】
800円(700円)・小学生以下400円
【大学生・専門学校生】
600円(500円)・中学生400円
【中高生】
400円(300円)・小学生以下
300円(250円)・三歳未満無料

フクちゃん 横山隆一 (1964年)



お宝展示

ゾロリが集めた「お宝」の数々が立体になって登場！第1巻の剣や第6巻のフルル製菓のフルルチョコなど、ゾロリの「お宝」たちが本を飛び出し、目の前に！

トリック アートフォト ボックス

お話に登場する場面のフォトスポットを設置。迫力満点のシーンの中で記念撮影を！

創作の ひみつ

ワクワクする冒険やいたずらのアイデアなどが詰まった、原作者のスケッチブックやネーム集を初展示。会場では先生による創作エピソードも初披露！

原画展示

「かいけつゾロリ」シリーズから、とっておきの原画を展示。

期間●2019年9月14日(土)~11月10日(日)
場所●横山隆一記念まんが館企画展示室
時間●9:00~18:00(最終入場17:30)
休館日●月曜日(但し、祝日の場合は開館)
観覧料●一般 800円(700円)
大学生・専門学校生 600円(500円)
中高生 400円(300円)
小学生以下 300円(250円)
三歳未満 無料
※()内は前売り料金
※その他障害者手帳等を持参の方の割引や団体割があります。
※本展をご覧の方で、一般・大学生・専門学校生は常設展示を200円で観覧できます。
主催●公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館、KUTVテレビ高知

2019 高知のまんが・漫画・マンガ展!

開催日 ● 2019年7月20日(土)～9月1日(日)
場 所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室

高知漫画集団と高知漫画グループくじらの会による合同作品展「まんが・漫画・マンガ展!」と、高知のまんがの「今」を紹介してきた「高知のまんがあれこれ展」を発展的に融合させた「2019高知のまんが・漫画・マンガ展!」を開催しました。企画展では、高知のまんがを「合同作品展」、高知で行われたまんがイベント、「高知から展開するまんが的要素」の3つの視点から紹介しました。

「合同作品展」では、2つの団体のメンバーが、「ホラー」をテーマに合作ジオラマを制作。和洋折衷様々なものジオラマに乱立しました。自由作品では各メンバーが自分の得意な表現方法によって作品を制作し、まんがとは何か?と問いかけてくる作品が多数展示され、個性豊かなまんが表現を楽しんで頂けたと思います。



プロのまんが家が協力して仕上げた作品



合作ジオラマ「ホラー」

のあった作品の中から受賞作品4点を展示。フリー部門の最優秀賞には高知漫画集団のクメヒロオさんが選ばれています。「漫画家甲子園」は夏に行われる「まんが甲子園」と同じルールで競うイベント。2つのプロのまんが家チームが、同じテーマで1枚の絵を制限時間の中でどう仕上げるか?という、プロ同士のやり取りが感じられる作品を展示しました。

「高知から展開するまんが的要素」では、現在高知新聞に「定年のデザイン」を連載している里見和彦さんの「里見デザイン室」の仕事として、イラスト原画、また去年出版された「雑草のサバイバル大作戦」の原画を中心に、仕事の中にあるまんが的要素を展示しました。まんが的要素(例えば絵や文字、あるいは絵のみで相手にメッセージを伝えるといったもの)が感じられる里見さんの仕事を紹介することで、普段とは違う視点でまんがを楽しんでもらえたいと思います。



里見デザイン室の仕事

関連イベントは「目指せ!まんが職人」とのコラボレーション企画として開催した2つのまんが体験イベント「まんが動物園をつくろう!」(8月16日/講師:岩神よしひろ)では空想の生き物がたくさん溢れ、「ぼっくんアニマルをつくろう!」(8月17日/講師:おかもとあつし)では構造を上手に生かした作品が出来上がっていました。

恒例のチャリティー似顔絵コーナーには、夏休みの時期とも重なって子供たちや親子で描いてもらう人も多かったです。

2019 夏休み

まんが体験イベント めざせ!まんが職人

開催日 ● 2019年7月27日(土)・28日(日)
8月6日(火)・7日(水)・16日(金)・17日(土)
場 所 ● まんが館まんがライブラリー2

毎年恒例の小学生向けの夏休みイベント「めざせ!まんが職人」今年も葉書での申込みで定員がいっぱいになる盛況ぶりでした。参加者のみなさんには、まんがに親しみながら工作を楽しむイベントとして、また家庭によってはお子さんと一緒に夏休みの思い出を作る機会としても、定着しているようです。

今年は昨年同様、全6コース12教室を開催しましたが、そのうちの2コース4教室を、5階企画展示室で開催中だった「2019高知のまんが漫画マンガ展!」とのコラボレーション企画として実施しました(上の記事参照)。

おおよその案を考えてきた子、会場に来て悩む子、見本を真似て作ってみる子など取り組み方は様々でしたが、どのコースもみな真剣に絵を描いたり工作をしたり、思い思いの世界を作品に反映させていました。

出来上がった世界に一つの作品を手に、カメラの前でポーズを取る満足そうな笑顔に、保護者の方のみならず職員も癒されま



たのしい! 見て見て!



作品すごいでしょ!

秋のMEGAマン研開催決定!

まんがを描きたい中高生を応援する「MEGAマン研」。秋の開催日が決定しました!

人物・背景の描き方、原稿用紙・道具の使い方から同人誌の作り方、部活相談まで、県内在住のマン研OBたちが指導します。

開催時間内なら都合の良い時間だけ参加できて、食べ物や飲み物の持ち込みもOK! マン研の人も、入っていない人も、描いたことないけど描いてみたい人も、ちょっとステップアップしたい人も、まんがを描きたい人なら誰でも大歓迎です!



今年はどのキャラクターが来てくれるかな?

※写真は昨年の「じもきゃらステージ」の様子です

まんさい

2019年 11/2(土)・3(日・祝)

今年も四国最大級のまんがイベント「まんさい—こうちまんがフェスティバル2019」がやってきます!

今年も3連休の最初の2日間、11月2日・3日で開催。2日(土)が木村良平さんと井上喜久子さん・田中敦子さんによる文芸あねもねR、3日(日・祝)にはまんさい親善大使・森久保祥太郎さんや気鋭の声優鈴木健一さん、高知出身の小野大輔さんら豪華ゲストの出演が決まっています。ほかにもまんが家さんによるライブドローイングや、おなじみ「じもきゃらステージ」など盛りだくさんのイベントを予定しています。コスプレしての参加もOK。「みて」「かいて」「あそぶ」まんがとアニメを満喫する2日間をお楽しみください。

開催日 ● 2019年10月5日(土)・6日(日)
時間 ● 11:00~17:00 ※出入り自由
場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと 10階絵画室
参加料 ● 無料
お問い合わせ ● URL: <http://mansai.org>
E-mail: megamanken@mail.117.cx

イベントの詳細や
参加申込についての
最新情報はホームページ
<http://mansai.org>
をチェック☆

開催日 ● 2019年11月2日(土)・3日(日・祝)
時間 ● 10:00~16:00 ※オープニングセレモニーなど一部イベントを除く
場所 ● 高知市文化プラザかるぼーと
参加料 ● 入場パスポート: 高校生以上 各日500円、小・中学生 2日間有効500円
※小学生未満無料 ※一部イベントを除く
主催 ● こうちまんがフェスティバル実行委員会2019、高知市、高知市教育委員会、高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

トピックス
TOPICS

「西原理恵子展」が 開催されました

6月8日から7月28日の間、香美市立美術館において、高知市出身のまんが家、西原理恵子さんの展覧会「西原理恵子展 人生はおきやく」が開催されました。



西原さんの高知での展覧会は、当館で2010年に行われた「バラハク」以来9年ぶり、今回は西原さんが10代の頃に美術を学んでいた、香美市立美術館の都築房子館長との縁で実現しました。

西原さんの出生から現在までの半生を綴った巨大年表から始まり、作中の「言葉」と合わさった62点の原画、フィギュアやグッズなどの他、写真家の都築恵司さんが撮られた西原さんの故郷・浦戸の風景にサイバラキャラクターが散りばめられた写真なども展示され、詰めかけた多くのお客様は熱心に鑑賞されていました。

また、6月29日には西原さんと都築館長の対談イベントも行われ、限定80名の難関を突破した「サイバラニア」の熱気の中、西原さんと都築館長の師弟関係ならではのエピソードや、故郷高知への思いを笑いを散りばめながら語りあげました。



「西原理恵子展」



香美市立美術館
館長

都築 房子

まんがと私



この夏、香美市立美術館では「西原理恵子展 人生はおきやく」を開催しました。最近では、美術館でのまんが展もあまりめずらしいことではなくなってきましたが、私にとってこの展覧会は特別なものがありました。西原さんとのつきあいは彼女が高校を中退した頃からのもので、美大受験のための実技の勉強に造形教室(私が主宰している画塾)に来たところからはじまっています。

当時の彼女の様子を考えると、まさかこのようなまんが家になれるとは想像もできませんでした。彼女のこれまでの波乱万丈な人生は、今では誰もが知るところですが、それが彼女を成長させ、大きな成果として作品に仕上がっています。自分の人生をまるごとまんがで表現した、まことにあっぱれなまんが家であると言えます。

この西原理恵子の魅力を表現するために、私たちが一番力を入れたのが年表の作成でした。それを原画とともに展示することで彼女のまんがが彼女の生き方と一体のものであり、まさに体当たりで独自の領域を切り開いてきたことを示したいと考えました。この試みは幸いにも来館者の皆様に好意的に受けとめられたようで、メッセージカードに数多くの感想が寄せられました。良い時も悪い時も前向きに人生と闘って、それをまんがにして笑って乗り越えていった西原理恵子の魅力を多くの方々と共感することができました。彼女の人生が続く限り、それを描くまんがも続いていくことを思うと、まだまだ楽しみが一杯です。

横山隆一が紙切りをする映像が見つかる

朝日新聞社が戦前に作製した子ども向けニュース映像「アサヒホームグラフィック」。戦後、連合国軍総司令部(GHQ)にフィルムが接収され、アメリカに渡ったあと、半世紀前に日本に返還され、国の施設で保管されてきました。数年前にその存在が確認され、内容の調査が進められていました。その中に横山隆一が紙切りをする映像が残されていました。タイトルは「小父さんは紙切がお上手」。約1分30秒の白黒映像。子供たちに囲まれながらハサミを動かして、一枚の紙からあつという間にフタを作り上げています。

隆一は紙切りの名手であるとして自負していましたが、実際に紙を切る映像からはそのことがよく伝わってくる貴重な資料となっています。

映像は朝日新聞社 YouTube チャンネルでご覧いただけます。
「1940アーカイブス」漫画界のシエント横山隆一さん 10月17日の顔
<https://youtu.be/YrInHaty9c0>

「高知市平和の日」記念事業

「まんがが伝える戦争と平和」展示

毎年高知市が開催している「高知市平和の日」記念事業が、今年も8月6日から15日まで市立自由民権記念館で開催され、今年も「まんがが伝える戦争と平和」展示が行われました。昨年「まんがが少年、空を飛ぶ」という本が出版された、高知市出身で、まんがを描くのが得意な少年・山崎祐則さんが軍隊生活のあれこれを家族に書き送った絵手紙等が展示されました。まんが館からも関連資料として横山隆一が戦時中に描いた「フクちゃん」を使った貯金を奨励する広報葉書、ポスター、紙芝居や、隆一がジャワに派遣された際の写真等を展示用に提供した他、戦争をテーマにしたまんがの本を会場でもらうよう貸出しました。会期中の12日(月)祝日は子どもデーのイベントがあり、フクちゃんも登場してお手伝いしました。

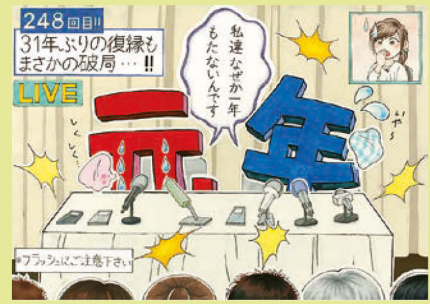
また、「平和への思い」作品募集では毛筆部門、標語部門、まんがイラスト部門合わせて678点の応募があり、まんがイラスト部門では、小学生の部で義務教育学校土佐山学舎6年・和田昂大さんが、中学生の部では市立青柳中学校3年・松本葵衣さんが、最優秀に選ばれました。



国策紙芝居「フクちゃん」と怪人物

熱戦! 「第28回まんが甲子園」終了

本家本元の甲子園に先駆けて、ペン見たちの夏の熱戦「第28回全国高等学校漫画選手権大会」まんが甲子園が8月3日(土)・4日(日)に高知市文化プラザかるぼーとで開催されました。事前に行われた予選(参加270校を勝ち抜いた33校が、限られた時間の中で画力・想像力・団結力をあわせて第一次競技テーマの「よろこんでやらせていただきます」に取り組みました。決勝戦は第1次競技を勝ち抜いた15校と敗者復活戦で復活を遂げた5校が「元年」に挑戦。最優秀賞に輝いたのは、元号の元年が丸1年に満たない点と男女の関係を絡めた作品に仕上げた宇都宮文星女子高等学校。高知県勢は高知市立高知商業高等学校と敗者復活を果たした明徳義塾高等学校が決勝に進み、高知商業がまんが王国・土佐推進協議会会長賞に入賞しました。2020(令和2)年は、第44回全国高等学校総合文化祭が高知県で開催され、まんが部門の事業としてまんが甲子園が実施されます。さらなる高校生たちの活躍をご期待ください。



決勝戦テーマ「元年」宇都宮文星女子高等学校

「黒潮マンガ大賞」31年の歴史に幕

1989(平成元年)、高知新聞が創刊85周年を迎えるにあたって、自由と反骨の精神に富む高知から新たな才能を発掘しようとして創設された黒潮マンガ大賞。高知のまんが文化の礎を築いてきたこの「黒潮マンガ大賞」が平成の歴史とともにその歴史に幕を下ろしました。最後となった今年も36都道府県から139点の応募を受け、大賞1点・準大賞1点・入選5点が選出されました。大賞は作者の実体験を元に描かれたペンネーム・アロエしげみさん(京都府亀岡市)の「聖書のおばちゃん」が受賞。県内からはペンネーム・丸瀬戸蔵さんの「Mother Man」地上最強の母」が入選を果たしたほか、もう一歩賞に2作品が選ばれました。

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)
常設展示観覧料
一般410円
団体(20名以上)320円・65歳以上200円・高校生以下無料
身体障害者手帳(1、2級)、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
お問い合わせ先
〒781-9529 高知市九反田2-1
高知市文化プラザかるぼーと内
横山隆一記念まんが館
TEL:088-883-5029
FAX:088-883-5049
URL:<http://www.kfca.jp/mangan/>
E-mail:mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階の入口よりご入場ください。

新着図書(2019年5月~7月)

- 『キンダーブック12月号』
- 『芸術新潮2019年7月号』特集:萩尾望都
- 『ヘルプマン!取材記』3巻 くさかり樹
- 『その女、シルバ』1~5巻 有間しのぶ
- 『夕暮れへ』 齋藤なすな
- 『あれよ星屑』1~7巻 山田参助
- 『生理ちゃん』 小山健
- 『男爵』 バロン吉元
- 『ONE PIECE』93巻 尾田栄一郎
- 『第23回手塚治虫文化賞』『第48回日本漫画家協会賞』の受賞作を中心に入荷しました。



以前読んだ本で、まんが家のいしかわじゅんさんが「まんがを描いている中でクリエイティブな時間は一瞬でしかなく、あとはひたすらしんどい作業が続く」と書かれていた。作者の頭の中に浮かんだ“絵”と“物語”をそのままの形で表現できるのは、まんがというジャンルの一番の強みである一方で、他者が加わることで作家も思っていなかった方向に広がることのできるその他の表現芸術と比較すると、まんがのストイックさというのは際立つな。さらに自分の生き様をさらけ出すスタイルの作家の覚悟つたら...と、とある展覧会を見て思ったことでした。(吉)